

昇龍の夢

(平成九年度寮歌)

長谷川健君 作歌
石井英一君 作曲

流転行路に我仰ぎ見る
もいろぞら　りゆう
桃色空に龍の雲
われしよりゆう　ゆめ
我昇龍の夢に入る……

一
霞こめ雄き林を抜け出でて
かすみ　たけ　はやし　ぬ
迫り着きし我がふるさとの
たど　つ　わ
垣根は山河陽はおちて
かきね　さんが　ひ
大いなる水海に月映ゆる
おお　うみ　つきは
ふるきよき力強きふるさとに
ちからつよ
はぐくまれし嗚呼我は
ふえ　おも　ひ　さ　あ　われ
不壊の哲い引き提げて
りめう
龍のごとくに昇りゆく

二
しかれどもいつしか其れも身を移し
むかし　しの　こ　われ
昔を偲ぶ此の我に
とき　なが　かん
時の流れを感じつつ
いま　みわた
今あたりを見渡せば
あた　せ　かい　ひろ　あた
新しき世界の広がり新しき
もの　ここに　見て　我思う
かれ　おも　ひ　さ　われ　おも
「彼の哲い引き提げて
わか　ちから　の　ほ　くれないぞら
若き力で昇りゆけ」
ふと仰ぎ見る　紅空に
りめう　くも　かた　なが
龍の雲は形くずし流れゆく